

Press release

2015年第4四半期 スマートフォンのグローバル販売動向

2016年3月3日

お問い合わせ
GfK ジャパン
広報グループ
TEL 03-5350-4632
info.jp@gfk.com
www.gfk.com/jp

【概要】

- ・中国の需要増が市場成長をけん引
- ・APAC 新興国、中東&アフリカが大きく伸長
- ・2016年通年のスマートフォン販売は数量前年比7%増の見込みを予測

2015年第4四半期（10-12月）におけるグローバルのスマートフォン販売台数は前年比6%増の3億6800万台となった。これは、2015年第3四半期との対比では14%増であった。第4四半期の販売金額は、平均価格が前年を6%下回ったことにより前年並みの1152億USドルにとどまった。なお、2015年通年では、販売台数は前年比7%増の13億台に達した。平均価格が前年を2%下回ったため、販売金額は前年比5%増の3990億USドルとなった。

2015年第4四半期 スマートフォン販売数量・金額

	販売数量 (100万台)			販売金額 (10億USドル)		
	2014年 第4 四半期	2015年 第4 四半期	伸び率 (%)	2014年 第4 四半期	2015年 第4 四半期	伸び率 (%)
中南米	36	32	-13%	10	7	-23%
中央・東ヨーロッパ	21	22	4%	5	5	-11%
北米	57	56	-1%	26	24	-7%
APAC新興国	42	50	21%	8	8	8%
中東&アフリカ	38	42	12%	11	10	-5%
西ヨーロッパ	40	42	5%	17	17	-1%
中国	95	107	12%	29	34	16%
APAC先進国	17	17	0%	11	11	-4%
グローバル全体	346	368	6%	116	115	0%

GfKトレンド&フォーカスディレクターKevin Walsh コメント：

「2015年のこの結果は、すべての国を合わせてみたものである。各国の経済情勢、デ

バイスの飽和、政治、社会の変化、スポーツイベントなどがスマートフォンの需要や価格に与える影響は極めて大きい。」

APAC 新興国*: 市場拡大が続く

APAC 新興国はグローバルスマートフォン市場の成長をけん引した地域で、2015 年第 4 四半期は数量前年比 21%増を記録した。

国別に見ると、インドは数量前年比 34%増と大きく成長した。特に 100US ドル未満の低価格帯は同 76%増と成長が著しかった。ここにはスマートフォンを初めて購入する消費者の潜在需要が多く残されている。100US ドル未満の占有率は 2015 年第 4 四半期では 24%にとどまっている。

中国: 市場は二桁増に転じる

2015 年第 4 四半期における中国のスマートフォン販売台数は数量前年比 12%増となった。同市場では 2014 年第 3 四半期から 4 期連続でマイナス成長が続いていたが 2015 年第 3 四半期からプラス成長に転じている。1 億 660 万台という今四半期の販売台数は記録的な数字であり、グローバルのスマートフォン販売の成長をけん引した。

価格帯別にみると、全ての価格帯でプラス成長となったが、特に 500US ドル以上の高価格帯へのシフトが顕著であった。同セグメントの構成比は第 3 四半期では 15%を下回っていたが、第 4 四半期では 18%に達した。この結果、平均価格は前年から 4%上昇し、314US ドルとなった。2015 年第 4 四半期のスマートフォン販売金額は前年比 16%増の 335 億 US ドルとなった。

LTE 対応、大画面化は継続した。画面サイズ 5 インチ以上の数量構成比は 2015 年第 4 四半期では 71%を占め、前年同期の 53%から拡大した。LTE 対応モデルは、2015 年は数量前年比 248%のプラス成長となったが、ほぼすべてが LTE 対応になりつつあるため、2016 年は同 17%増にとどまると見込む。

価格競争力のあるローカルブランドはシェアを伸ばしており、2015 年第 4 四半期では前年同期の 69%から拡大し 75%を占めた。

2015 年通年における中国のスマートフォン販売は数量前年比 2%減であったが、2016 年は通信会社の補助の増額が見込まれており、これを後押しに、同 3%増のプラス成長に転じると予測する。

中東&アフリカ: エジプトが飛躍

今四半期における中東 & アフリカのスマートフォン販売は、成長の鈍化が見られるものの、数量前年比 12%増となった。多くの国々がプラス成長となったが、中でもエジプトは同 27%増と成長が著しかった。

中南米: 低下価格帯モデルへの需要増

中南米のスマートフォン販売はマイナス成長が続き、2015 年第 4 四半期は数量前年比 13%減となった。ブラジルがマクロ経済の減退に伴い同 26%減となったことが大きく影響した。中南米におけるスマートフォンの平均価格は、低価格帯の需要増により前

年同期を 12% 下回った。結果、2015 年第 4 四半期の販売金額は前年比 23% 減の 70 億 US ドル規模にとどまった。

APAC 先進国*: 需要は安定

2015 年第 4 四半期における APAC 先進国のスマートフォン販売台数は前年並みであった。韓国は前年同期の販売水準が低かったこともあるが、数量前年比 8% 増となった。韓国がプラス成長に転じたのは、2013 年第 4 四半期ぶりであった。一方で、日本はマイナス成長となっており、APAC 先進国としては、前年並みの販売となった。

西ヨーロッパ: フランス、ドイツ、イギリスでプラス成長

2015 年第 4 四半期におけるスマートフォン販売台数は前年比 5% 増。100US ドル未満の低価格帯が同 61% 増と成長をけん引した。市場規模の大きいフランス、ドイツ、イギリスの販売が好調であったことが大きかった。

中央・東ヨーロッパ: ポーランドは大きく成長するも、全体では 4% 増にとどまる

中央・東ヨーロッパは数量前年比 4% 増となった。ポーランドが同 36% 増を記録する一方、政治や経済の問題からロシアは同 7% 減、ウクライナは同 14% 減となった。

スマートフォン販売：2015年実績および2016年予想

	販売数量 (100万台)			販売金額 (10億USドル)		
	2015年	2016年	伸び率 (%)	2015年	2016年	伸び率 (%)
中南米	110	109	-1%	27	26	-6%
中央・東ヨーロッパ	73	78	7%	15	15	-2%
北米	191	194	2%	78	77	-1%
APAC新興国	185	227	23%	31	33	8%
中東&アフリカ	162	188	16%	42	43	3%
西ヨーロッパ	137	142	4%	54	53	-2%
中国	385	397	3%	116	118	2%
APAC先進国	65	66	1%	38	37	-1%
グローバル全体	1,309	1,400	7%	399	401	1%

GfKトレンド&フォーカスティングディレクターKevin Walsh コメント：

「2016年は各国の状況の変化が市場に与える影響が大きくなるとみられる。成長の鍵となるのはAPAC新興国と中東&アフリカと予測する。2016年もグローバルのスマートフォン販売はプラス成長を予測するが、各国のトレンドやセグメントの状況を細かくみる必要性が高まるであろう。」

-ENDS-

-- 注記 --

※. 90カ国以上の市場から販売実績（POSデータ）を集計し、市場規模相当まで拡大推計した。なお、アメリカについては、独自の市場モデリング及び消費者調査を基に推計を行った。また、販売金額は補助金を除く小売り販売額である。データは四半期毎に更新され、次回のリリースは2016年5月を予定。

※ リリース内におけるAPAC先進国・新興国には以下の国が含まれる。

APAC先進国：オーストラリア、香港、日本、ニュージーランド、シンガポール、韓国、台湾

APAC新興国：インド、インドネシア、カンボジア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム

GfKについて

GfKはクライアントがより良い意思決定を下せるよう、市場や消費者に関する信頼できる情報を提供しています。13,000名超の情熱を持ったマーケットエキスパートとデータサイエンス分野における長年の実績をもとに、GfKは価値あるグローバルインサイトと100カ国以上のローカルマーケットインテリジェンスを提供します。GfKは革新的なテクノロジーとデータサイエンスを活用してビックデータをスマートデータに変えます。そして、クライアントが競争力を高め、消費者の体験や選択を豊かにできるよう支援します。